

No. 20

3月号

令和6年  
2024・2・20



日立市視聴覚センター通信

みて、きいて、学びを楽しく

# みきまた

編集・発行  
日立市視聴覚センター  
〒317-0073  
日立市幸町1-21-1  
電話：0294-24-5055  
FAX：0294-24-5066

## 令和5年度を振り返り

館長 鈴木弘嗣

今年度もまた、皆様のご支援、ご協力により本センターとしての使命を果たせたことに、改めて感謝申し上げます。

昨年9月から「ひたちシネマ」を再開し、「こどもしよくどう」等名画作品の上映会を開催しました。視聴覚教材は、DVD教材が最も多く(約9割)利用されています。機材は、利用の大半が交流センター等の社会教育機関での上映会で使われ、DVDプレーヤー、プロジェクター、スクリーンの順で多く利用されています。教材・機材を活用したイベントが活発になる中で、地域の文化力の向上をうかがうことができました。来年度もまた、ご支援のほどよろしく願いいたします。

## 防災教育 3・11

特集

## 記憶は消えて、記録は残る

昨年の台風13号、1月能登半島地震を始め、次々と襲いかかる自然災害から命を守るための防災教育は喫緊の課題です。

平成23年(2011)3月11日午後2時46分、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が東日本を広域に襲い、特に津波等による被害は甚大で約2万人の犠牲者を出した東日本大震災を思い出してください。福島第一原子力発電所事故は今世紀最大の複合災害を引き起こし、現在も廃炉作業が続いています。

本市では、全ての港町が押し寄せた津波にのまれ破壊されました。

今回、「防災教育」オススメ教材として、『日立市川尻町の災害』(2011年・10分・ハイビジョン映像)を紹介します。これは市民の方が、**地域防災**を目的に録画・編集、「第25回ひたち映像コンクール」に応募し、特賞を受賞された作品です。

第一波から30分後に襲来した大津波が防潮堤を越え人家をのみこむ大自然の脅威を生々しくとらえています。さらに、津波で破壊された海岸周辺の震災直後の状況、川尻漁港組合長や豊浦学区自主防災本部長の困難を極めた地震災害における生の声を拾い集め、800人が避難した豊浦小学校・避難所の姿はリアルです。

13年が経過することにより今では当時の記憶が薄らいでいる中で、学校や地域での効果的な防災教育として、視聴覚教材を生かした学びが最適です。

現在、日本列島が火山活動期にあり、**南海トラフ巨大地震**が危惧されています。**命を守るために、教材で観て聴いて学ぶ**中で、心身を**バイアスから解放し想像力を豊かにし**、毎年想定を変えた「**逃げる訓練**」が重要です。



## たんげきぜんよわ 丹下左膳餘話 百萬両の壺

1995年キネマ旬報「日本映画オールタイムベストテン」9位

公開：1935年(昭和10年)

時間：92分

貸出番号：1200806

百万両の謎の壺をめぐるチャンバラ時代劇に留まらず、人情喜劇として笑いとテンポを巧みに演出した人間ドラマ。黒沢明と同世代の28歳で夭折した天才監督の代表作。

監督：山中貞雄 脚本：三村伸太郎  
原作：林 不忘  
出演者：大河内傳次郎、喜代三

今月の  
オススメ  
豊田

